

# BUSINESS REPORT 2015

平成27年3月期 中間報告書  
[平成26年4月1日～平成26年9月30日]



焼津水産化学工業株式会社

天然素材の  
フィールドで、  
“おいしさと健康”を  
追求します。



代表取締役社長

山本 和広

株主の皆さまにおかれましては、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第56期中間期(平成26年4月1日～平成26年9月30日)の事業の概況、業績等につきましてご報告申し上げます。

## 上半期の業績

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)のわが国経済を取り巻く環境は、政府による経済対策や日本銀行による金融政策により景気回復の兆しが見られたものの、消費税増税の影響や円安による原材料価格、燃料価格等の上昇もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品業界におきましても原材料価格、燃料価格等の上昇が続くなか、消費税増税に伴う生活防衛意識や節約志向が続いており、依然として厳しい収益環境が続いております。

このような中、当社グループでは、中期経営計画「Change & Challenge」の2年目にあたり、中期経営計画の最終目標である連結営業利益22億円を達成するために、当連結会計年度の営業利益目標17億円を全社一丸で掴み取るべく“Catch up 17 to 22”を合言葉に、自らが“変化”し、新しいことに“挑戦”していく企業風土を醸成しながら、更なる企業価値向上

と持続的な成長の実現に向けた取り組みを進めております。

具体的には、i. ROE 経営の指向、ii. 経営陣の刷新と執行役員制度の導入、iii. 新事業領域の開拓、iv. 新工場の稼働、v. 営業体制の抜本的改革、vi. 有力商品の開発・上市、vii. 有償ストックオプションの導入に組み、販売及び開発の体制を見直して既存事業を強化しつつ、新たに女性プロジェクト「YSK 働く女性研究所」を立上げ化粧品「NAG+[ナグプラス]」シリーズを上市するなど、新規事業領域への展開を推進しています。また、製造面では、掛川新工場が8月28日に竣工し、生産性及び品質の向上に向けた取り組みやBCP対策を着実に進めております。これらの施策を確実に成果に結び付けるため、各部署で数値目標を設定し、その進捗管理を実施することで計画の達成に努めました。

売上高につきましては、健康食品市場の競争激化に伴う取引先の受注減少や医療栄養食におけるOEM生産の減少などにより機能食品が減少したほか、水産物の海外向け輸出の減少などにより、連結売上高は96億85百万円(前年同期比4億88百万円、4.8%減)となりました。利益面につきましては、各種経費削減に取り組んだものの、原材料価格、燃料価格等の上昇や減収の影響により、連結営業利益は5億46百万円(同12百万円、2.2%減)、連結経常利益は5億96百万円(同19百万円、3.1%減)、連結四半期純利益は3億63百万円(同12百万円、3.4%減)となりました。

## 株主の皆さまへのメッセージ

当期の中間配当については、前期の中間配当と同じく1株当たり10円とさせていただきます。期末配当については1株当たり14円(中間と合わせて年間24円)を予定しております。

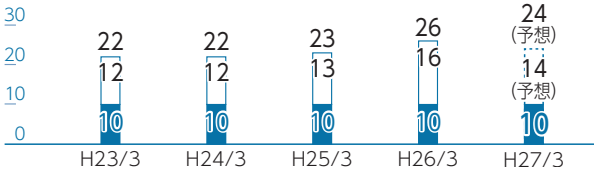
当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、引き続きグループの力を結集して持続的な成長を実現し、株主価値の向上に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ● 配当金推移 ●

(単位：円)

■ 第2四半期 □ 通期



## 中期経営計画

# Change & Challenge

当社グループの2013年度～2015年度までの中期経営計画のスローガンは「Change & Challenge」です。“成長への再挑戦”という位置付けで、“変化”し、新しいことに“挑戦”していきながら、当社グループで過去最高の連結営業利益の更新に挑戦します。

### 「Change & Challenge」の基本方針

4つの柱に経営資源(ヒト・物・金)を集中投入し成長戦略を描く



各部署・グループ会社の施策の具現化

### 「Change & Challenge」の定量目標

(単位：百万円)

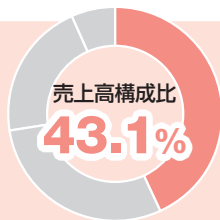
|               | H28/3<br>(計画) |
|---------------|---------------|
| 連結売上高         | 24,800        |
| 連結営業利益        | 2,200         |
| ROE (自己資本利益率) | 8.0%          |

### 重点施策

1. 既存コア事業の深耕・事業継続計画 (BCP) 対応
2. 開発型企业への復権・回帰
3. 新事業への挑戦
4. グローバル展開と新たな海外拠点 (東南アジア) の設置
5. グループ経営基盤の強化

## セグメント情報

天然調味料の製造 香辛料の製造  
調味料の受託加工



# 調味料

売上高 **41億 79百万円** (前年同期比 **2.0%減** ↓)

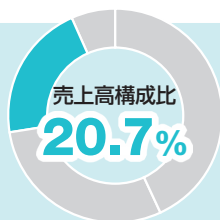
セグメント利益 **5億 17百万円** (前年同期比 **14.3%減** ↓)

液体調味料の販売は前年同期並みでしたが、粉体調味料の販売が低迷し、減収減益となりました。

### 天然調味料

カツオエキス 昆布エキス ホタテエキス  
カニエキス オイスターエキス etc.

水産物の問屋業 倉庫業  
水産物の加工



# 水産物

売上高 **20億 2百万円** (前年同期比 **5.8%減** ↓)

セグメント利益 **25百万円** (前年同期比 **15.5%減** ↓)

加工製品は堅調でしたが、海外向け輸出が減少したため、減収減益となりました。

※上記における各分野のセグメント利益は配賦不能費用(3億34百万円)

機能性食品素材の製造

医療栄養食(流動食の受託製造)

健康食品の通信販売

機能食品の受託加工

売上高構成比

29.6%

## 機能食品

売上高

28億 66百万円

(前年同期比 10.0%減)

セグメント利益

2億 99百万円

(前年同期比 10.2%減)

健康食品市場の競争激化による受注減少と医療栄養食の一部取引先向けのOEM生産の減少により、減収減益となりました。

## 機能性素材

N-アセチルグルコサミン アンセリン

マリンコラーゲン フコイダン コンドロイチン硫酸 etc.

その他商品

売上高構成比

6.6%

## その他

売上高

6億 37百万円

(前年同期比 6.3%増)

セグメント利益

38百万円

(前年同期比 317.5%増)

その他商品の販売については、取引先ニーズを捉えた商品の販売が増加し、増収増益となりました。

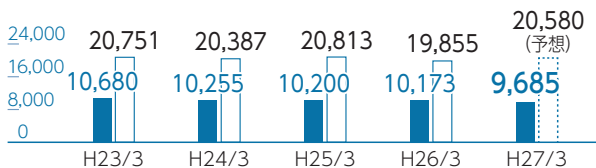
# 決算ハイライト

# Financial Highlights

## ● 連結売上高 ●

(単位: 百万円)

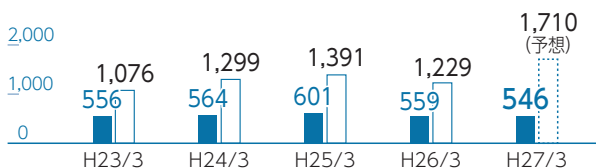
■ 第2四半期 □ 通期



## ● 連結営業利益 ●

(単位: 百万円)

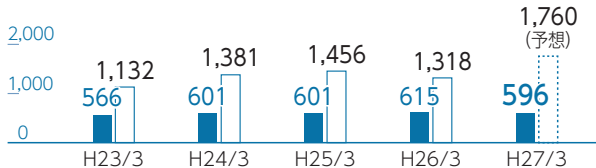
■ 第2四半期 □ 通期



## ● 連結経常利益 ●

(単位: 百万円)

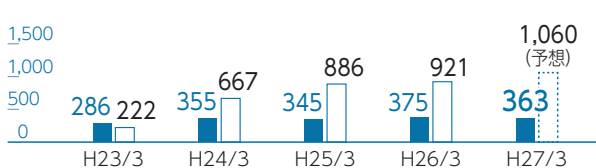
■ 第2四半期 □ 通期



## ● 連結四半期(当期)純利益 ●

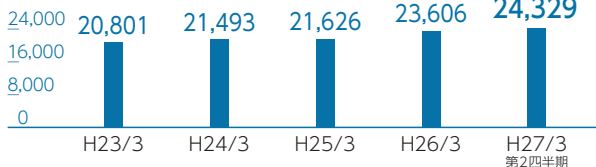
(単位: 百万円)

■ 第2四半期 □ 通期



## ● 連結総資産 ●

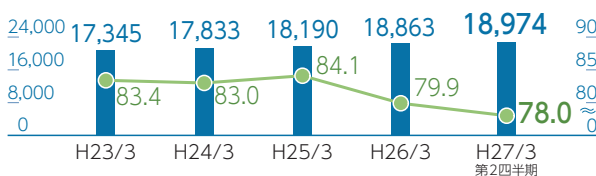
(単位: 百万円)



## ● 連結純資産 / 連結自己資本比率 ●

(単位: 百万円)

■ 連結純資産 ● 連結自己資本比率 (単位: %)



## トピックス

### 「YSK働く女性研究所」が始動

当社は新規事業ビジネスの創出のため、新ブランド「YSK働く女性研究所」を立ち上げ、内外美容をコンセプトとしたNAG+[ナグプラス]シリーズとして「オールインワンエッセンス」(ジェルタイプのオールインワン美容液)、「バスパウダー」(入浴剤)、「コラーゲンドリンク」(美容ドリンク)を9月11日に通販ルートで発売いたしました。



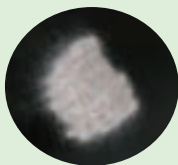
当社が製造販売を行うN-アセチルグルコサミンを贅沢に配合した3商品を併用してお使いいただくことで、体の内外から働きかけ、働く女性を美しい明日へと導きます。関節痛緩和サプリメントとして定着したN-アセチルグルコサミンを、うるおい成分として内外美容の目的で全面に打ち出した商品展開は、業界初の試みとなります。

「YSK働く女性研究所」は、“いつも自分らしく、いつまでもキレイでありたい”と願う女性のニーズにお応えする商品を提供します。アベノミクス成長戦略では女性の活躍が中核をなし、今後拡大していくと見込まれる働く女性をターゲットにした市場に、当社が長年培った自然素材に対する研究成果と女性ならではの視点で新しい価値を提供します。



## 低分子量キチンで 農業分野に進出

当社はこれまでカニ殻・エビ殻から得られるキチンを原料にN-アセチルグルコサミンを開発し、機能性食品素材として、国内外に展開しておりますが、その開発過程で得られた技術や知見を基に、当社独自の素材「低分子量キチン」を開発し、新規事業領域の一環として農業分野への進出に挑戦します。



LMC60

きちんと  
みの〜る

## ドリップ抽出で高濃度の 和風だし製品を発売

当社が培ってきた抽出技術を応用発展し、ドリップ抽出という新たな抽出方法(特許4845630号 節類エキスの製造方法)を確立し、濃縮を行わない高濃度の液体だしを開発し、「風味の雫™」シリーズとして10月に発売を開始しました。



## 掛川新工場が竣工

中期経営計画「Change & Challenge」の重点施策の1つとして、事業継続計画(BCP)の観点から、静岡県内陸部の高台に掛川新工場が平成26年8月に竣工いたしました。掛川新工場には最新鋭の設備が導入され効率的な生産を行い、更なる事業拡大を図ってまいります。



## 連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

| 科 目            | 前期末<br>(平成26年3月31日) | 当第2四半期末<br>(平成26年9月30日) |
|----------------|---------------------|-------------------------|
| <b>(資産の部)</b>  |                     |                         |
| 流動資産           | 12,638              | 12,082                  |
| 固定資産           | 10,967              | 12,247                  |
| 資産合計           | 23,606              | 24,329                  |
| <b>(負債の部)</b>  |                     |                         |
| 流動負債           | 2,942               | 3,761                   |
| 固定負債           | 1,800               | 1,592                   |
| 負債合計           | 4,742               | 5,354                   |
| <b>(純資産の部)</b> |                     |                         |
| 株主資本           | 18,040              | 18,197                  |
| その他の包括利益累計額    | 822                 | 776                     |
| 純資産合計          | 18,863              | 18,974                  |
| 負債・純資産合計       | 23,606              | 24,329                  |

## 連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

| 科 目             | 前第2四半期<br>(平成25年4月1日から<br>平成25年9月30日まで) | 当第2四半期<br>(平成26年4月1日から<br>平成26年9月30日まで) |
|-----------------|---|---|
| 売上高             | 10,173                                  | 9,685                                   |
| 売上総利益           | 2,263                                   | 2,106                                   |
| 営業利益            | 559                                     | 546                                     |
| 経常利益            | 615                                     | 596                                     |
| 税金等調整前四半期純利益    | 611                                     | 578                                     |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 375                                     | 363                                     |
| 四半期純利益          | 375                                     | 363                                     |

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

| 科 目                 | 前第2四半期<br>(平成25年4月1日から<br>平成25年9月30日まで) | 当第2四半期<br>(平成26年4月1日から<br>平成26年9月30日まで) |
|---------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー    | 670                                     | 867                                     |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー    | △ 635                                   | △ 1,672                                 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー    | △ 184                                   | 185                                     |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額    | 9                                       | 2                                       |
| 現金及び現金同等物の増加額(減少額△) | △ 140                                   | △ 616                                   |
| 現金及び現金同等物の期首残高      | 2,379                                   | 4,347                                   |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高    | 2,239                                   | 3,730                                   |

## 会社概要(平成26年9月30日現在)

|       |  |
|-------|--|
| 商号    | 焼津水産化学工業株式会社   |
| 事業内容  | 天然調味料及び機能食品の製造販売   |
| 資本金   | 36億1,764万円   |
| 創業年月日 | 昭和34年5月15日   |
| 取引銀行  | 静岡銀行 / 三井住友信託銀行  |
| 事業所   |  |
| 静岡本部  | 〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町11番1号<br>静銀・中京銀静岡駅南ビル6F<br>TEL.054-202-6030 FAX.054-202-6031  |
| 焼津本社  |  |
| 営業所   | 東京営業所、大阪営業所、名古屋営業所、九州営業所   |
| 工場    | 静岡県内4工場(焼津・団地工場 榛原工場 大東工場 掛川工場)  |
| 連結子会社 | ●マルミフーズ株式会社<br>資本金 100百万円 当社の議決権比率 100%<br>主な事業内容 水産物の加工・販売<br>●大連味思開生物技術有限公司<br>資本金 505百万円 当社の議決権比率 100%<br>主な事業内容 調味料等の製造・販売<br>●UMIウェルネス株式会社<br>資本金 50百万円 当社の議決権比率 100%<br>主な事業内容 健康食品の通信販売 |

## 株主メモ

|                           |   |
|---------------------------|---|
| 事業年度                      | 毎年4月1日から翌年3月31日まで   |
| 定時株主総会                    | 毎年6月下旬  |
| 株主確定基準日                   | (1) 定時株主総会議決権行使株主 3月31日<br>(2) 期末配当金受領株主 3月31日<br>(3) 中間配当金受領株主 9月30日<br>(4) その他必要あるとき あらかじめ公告して定めた日  |
| 単元株式数                     | 100株  |
| 上場金融商品取引所                 | 東京証券取引所 市場第1部   |
| 株主名簿管理人                   | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社   |
| 同事務取扱所                    | (〒168-0063)<br>東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部<br>電話番号(0120)782-031[フリーダイヤル]  |
| 同取次所<br>公告の方法             | 三井住友信託銀行株式会社 全国各支店<br>電子公告 <a href="http://www.yskf.jp/index.html">http://www.yskf.jp/index.html</a><br>ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。  |
| 株式に関する<br>各種手続きの<br>お申し出先 | (1) 証券会社経由で株式会社証券保管振替機構(ほふり)に株式がある場合<br>▶株主様が口座を開いている証券会社<br>(2) 特別口座に株式がある場合<br>▶三井住友信託銀行株式会社<br>お問い合わせは下記の証券代行部フリーダイヤル<br>またはホームページをご利用ください。<br>フリーダイヤル(0120)782-031(24時間受付:自動音声案内)<br>ホームページ <a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a> |

※ 配当金領収証で配当金をお受け取りの株主様は、別紙「配当金口座振込サービスのご案内」をご覧ください。

## ウェブサイトのご案内

当社のことをより深く理解していただくとともに、最新情報をタイムリーに提供することを目的に、IR情報や製品検索、研究開発情報、事業内容などをウェブサイトに掲載しています。ぜひご活用ください。(http://www.yskf.jp/)

トップページ



UMIオンラインショップで当社素材を配合した商品がお買い求めいただけます。

